7. 田んぼから学ぶ環境

田んぼでの遊びや学びを通じて農業やふるさとの大切さがわかります。

●田んぼや、水路、ため池、里山などを遊びと学びの場として活用した環境教育「田んぼの学校」が全国で展開されています。
●小中学校、地域住民、土地改良区、NPO等のスタッフのもと、農業農村の多面的機能を活用して、環境に対する豊かな感性と見識を持つ人を育てています。

■「田んぼの学校」の全国での活動状況（全251団体）

おじさんと田植え（青森県青森市）

おばあちゃんと田植え（石川県輪島市）

水路で魚捕り（栃木県河内町）

田んぼで魚つかみ（鳥取県関金町）

稲の掛け干し体験（鹿児島県川辺町）

田んぼでどろんこ運動会（広島県福富町）

資料）農村環境整備センター調べ（平成15年3月時点の登録数）

8. 地域学習と農業用水

地域周辺の農業用水路をたどることにより、歴史や生活が見えてきます。

●山形市立第六小学校では、周辺を流れる農業用水路（山形五堰）の改修にあわせて校内に親水水路を設置しました。

■山形市内の農業用水路

第六小学校内の親水水路

●親水水路の計画づくりに当たっては、行政の農林関係担当者をはじめ、学校の教員、児童、地域住民や地域の陶芸家などさまざまな人の参画を得ました。また、水質学習や水路についての地域学習が進んでいます。

■親水水路の構想には児童も参加

第六小学校児童が描いたビオトープ図

■地域学習に活用される親水水路

親水水路の水質調査